



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい(新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪成蹊大学駅前キャンパスII期(West館)新築工事		
建設地	東淀川区相川1丁目		
建物用途	大学		
建築主			
設計者			
竣工年	2027年3月	予定	
構造/階数	RC造	/	地上5階
敷地面積	9682.96 m <sup>2</sup>		
建築面積	1005.13 m <sup>2</sup>		
延床面積	4846.62 m <sup>2</sup>		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**B+**  
BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外のオンサイト手法	83%
④上記+オフサイト手法	83%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。  
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.5
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.5
効率的運用	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	3.4
周辺環境への配慮	3.1

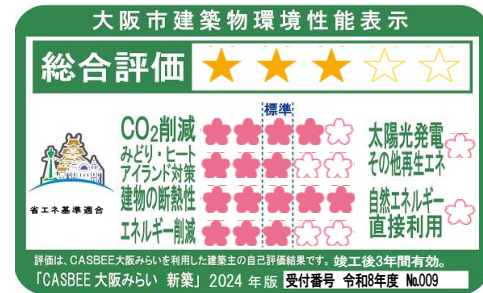
3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 大阪市東淀川区に計画された地上5階建て、RC造の大学。 高効率設備や節水器具を採用し、省エネルギー性を高めた。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> Low-Eガラスを採用し、断熱性能を高めた。 十分な採光、通風が得られるように開口部を計画した。 化学汚染物質対策として、主要な内装材及び取付接着剤はF☆☆☆☆を採用した。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材、配管を採用した。 安定した通信環境となるよう通信設備を整えた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内を積極的に緑化するとともに、周辺に調和する外観とすることで良好な景観となるよう配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。 躯体と仕上げ材が容易に分別できるよう下地構造はLGSとし、部材の再利用可能性向上に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害対策として、屋外広告は行わず敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.5
配慮事項		

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]
	- (相当)	0.58
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ]
	-	0.70